

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	NPO 法人 Salut
活動テーマ	くらしと災害フォーラム 2019



日本で暮らす私たちにとって「防災」は重要なテーマですが、防災や減災の手引きなど啓発の動きは盛んになっているものの、「災害弱者」といわれる方々に寄り添ったものはまだまだ少なく、また、防災や減災を方法論だけで乗り切ろうとすればかえって本質的な問題から遠ざかってしまうという懸念も強くなりました。そこで、「本当に必要な災害への備えとは何か」を考えるために、フォーラムを行うことにしました。

第1回は2018年11月24日、ワコールスタディホール京都にて、「女性の直感とまなざし」をテーマに開催。堂本暁子さん(男女共同参画と災害・復興ネットワーク 代表/前千葉県知事)と岡村美穂子さん(鈴木大拙館 名誉館長/日本民藝館 評議員)を講師にお迎えし、詩人の上田假奈代さんにナビゲーターとしてご協力いただきました。第2回は2020年1月11日、同会場にて、テーマを「他者としての日本人とわたし」として、講師に小原一真さん(フォトジャーナリスト)と堀有伸さん(精神科医)を、ナビゲーターには末安民生さん(岩手医科大学看護学部 教授)をお迎えし、約50名の参加者と一緒に考えました。

昨年度フォーラムの参加者のリピーター率が24.5%であり、その参加者が友人や配偶者を誘っての参加が多くみられました。参加者の性別をみると、男性の参加者が昨年度13.5%から今年度30.6%と増加しました。参加者の「大変満足度」をみると、昨年度は48.6%、今年度は80.1%と1.7倍となりました。このことより、「本当に必要な災害への備え」について考えることの必要性及び継続的に多様な人と熟考したい意向が高いことが推測されます。

第1回、第2回とも講演録の一部抜粋した小冊子を発行していることより、防災で重要なことを繰り返し、繰り返し「深く考える・議論する・実践する」サイクルを生み出すきっかけを構築できたと考えています。